

行政と議会のICT推進

今号は新島村のデジタル化、特に行政と議会におけるタブレット端末の導入についてご紹介します。

**行政での取り組み
分散業務促進事業**

概要…新島村では本定例会において、令和3年度新島村一般会計補正予算（第4号）が採決された。その中の新型コロナウイルス対策分散業務促進事業（企画財政課…1千万円）でノートパソコン・タブレット端末の導入が推進される。

目的は？

職員の感染予防の観点から、お互いの接触を避けて、分散して仕事に従事できる環境整備を行う。

そのためには？

役場庁舎内および教育委員会内において、持ち運びできる端末と無線通信環境、端末内のウイルス対策等の整備が必要になる。今回の予算で、据え置き型パソコンをノート型パソコン（19台）およびタブレット型パソコン（51台）へ更新していく。

他の効果は？

印刷を減らす（ペーパーレス）効果、オンライン会議への活用などに期待される。

議会での取り組み
議員・事務局へのタブレット端末の貸与開始

概要…2020年の総務常任委員会より、小久保利佳議員、木村諭史議員、前田卓秀議員を中心としたタブレット導入選抜メンバーにより、議会内での導入を推進していった。

概要…2020年の総務常任委員会より、小久保利佳議員、木村諭史議員、前田卓秀議員を中心としたタブレット導入選抜メンバーにより、議会内での導入を推進していった。

どこまで進んだ？

メンバーおよび事務局により、利用ルール整備、端末の初期設定、庁舎内無線通信設定、使用アプリ（ソフトウェア）の選定を行い、全員の端末が揃った1月18日の総務常任委員会後に希望議員で勉強会を行った。設定は議員自らい、まずは無料のソフトウェアから使い始める。

どうやって使える？

●議員・議会事務局の電子ファイルの一齐共有（ペーパーレス化と事務局職員による配布の手間削減）
●議場内での画面共有（会議システムを使って操作者の画面をそのまま映せるので、手元で確認ができて説明がわかりやすい）

今後は？

しばらくは紙と併用だが、

面をそのまま映せるので、手元で確認ができて説明がわかりやすい）

- テレビ会議システムの利用（にしき欠航時などでも会議参加できるが、本会議での議決などは不可）

●議員らの簡単なオンライン会議（意見交換なども含め）も実施したい。

希望する議員から予算書（1冊4千円程度）や決算書を電子データに替えていく。

- 実際の会議中に行政側とも連携して配布資料をタブレット端末で閲覧できるように試みる。



▲議員に配布したタブレット端末の実際の画面。議員同士によるファイル共有画面（左側）と配付資料の閲覧画面（右側）（直前まで議員各自が作業するような資料や、枚数の少ない資料、カラー写真・動画などは電子データで管理したほうが効率的）